

## 第 51 号

### 公益社団法人岐阜県浄化槽連合会 会誌

発行日 平成27年 8月20日  
発行所 岐阜市六条大溝 4-13-6  
発行者 公益社団法人岐阜県浄化槽連合会  
会長 玉川福和  
電話番号 058-274-0617  
FAX番号 058-275-7045

## 目 次

合併浄化槽 .....	1
第4回 定時総会 開催	
会長挨拶 玉川福和 .....	2
新役員を選任 .....	3
来賓挨拶	
岐阜県副知事 藤野琢巳 ...	4
岐阜県市長会代表 岐阜市副市長 佐藤哲也	
岐阜県町村会代表 川辺町長 佐藤光宏 ...	5
平成27年度浄化槽関係事業功労者表彰 ...	5
平成26年度浄化槽実務者研修会 .....	7
岐阜県浄化槽生涯機能保証制度からの報告 ...	8
平成26年度水質改善事例 .....	10
都道府県別汚水処理人口普及状況 .....	16

## 合併浄化槽

平成8年度末から、国交省、農水省、環境省では、毎年、都道府県別汚水処理人口普及状況を取りまとめて公表している。平成25年度末の全国の汚水処理人口普及率は88.9%で、残りの11.1%、1,400万人は生活雑排水が未処理の状態である。

岐阜県は汚水処理人口普及率が89.8%、未処理人口が10.2%、21万人であり、早期に未処理人口を解消する必要がある。このうち単独浄化槽が10万基、14万6,000人で70%を占めている。

単独浄化槽は、浄化槽法の改正で平成13年4月1日から新設が廃止され、新設は合併浄化槽だけとなった。そして、既設の単独浄化槽は合併浄化槽へ転換することが努力義務とされた。

しかし問題は、一方で合併浄化槽が下水道へ接続されることであり、岐阜県では平成13年以降8,300基（10%）も接続されている。

今、岐阜県では合併浄化槽は恒久的な汚水処理施設として安心して使用していただけるよう厳しい制度を設けて実施しているところである。

## 第4回 定時総会 開催

公益社団法人岐阜県浄化槽連合会の第4回定時総会が、平成27年6月10日岐阜県環境会館第二会館で開催された。玉川福和会長の挨拶に続いて、平成27年度浄化槽関係事業功労者の表彰が行われ、岐阜県知事表彰3名に藤野琢巳副知事から表彰状並びに記念品が授与された。引き続き会長表彰11名、永年勤続者表彰23名に玉川会長より表彰状並びに記念品が授与された。続いてご来賓の藤野副知事、岐阜県市長会から佐藤哲也岐阜市副市長、岐阜県町村会から佐藤光宏川辺町長からご挨拶があり、安福正寿岐阜県環境生活部長、大坪敬明廃棄物対策課長、八代英彦技術課長補佐が紹介された。

続いて議事に入り、平成26年度事業報告、平成26年度決算報告、任期満了に伴う理事並びに代議員の選任が行われ、全員一致で承認された。



### 会長挨拶

公益社団法人岐阜県浄化槽連合会

会長 玉川福和

国会では安保法案の議論が行われています。長い間、自民党の一党支配で来た日本も政権交代が起きた途端に政権を取った民主党が空中分解する。そして、私達は日本では政権交代がない方がいいなと思ったわけですが、またぞろ自民党が勝ち過ぎるとやはり慎重にならないといけないなど、こういう事態がおきております。自民党が招いた学者3人共が、安保改正は憲法違反だと、こう言って批判されて、返す言葉はそうじゃない、そういった考え方もあるが俺達はそうじゃないよと、こういった横着すぎる今の政権の在りようは極めて良くないと思う。私達は国政に無関心あってはいけないということが起きようとしていますから、皆さんも共に注目する必要がある。大事な問題でありますから、その点をお願いをしたい。

私達の業界を振り返ってみると、浄化槽は世界に誇れる水処理施設であるという認識を共に持っております。とおり一遍の維持管理をしても良好な処理水が70~80%は確保できる。しかし、残りの20~30%について私達は長い間余りにも無頓着でありました。設置者には3つの義務がある。保守点検、清掃、法定検査の3つの義務を果たしながら、設置者はその結果にはあまり関心がなかったように思う。しかし、それを業として生活している私達まで無関心であった時代が長かったが、そうであってはならないと気付きました。したがって、現在はそれぞれの業者が一つのオンラインで情報を交換して、良い処理水を得るために必死の努力をしている最中であります。間もなく出来上がる。そして今、国の方でも重い腰をあげて浄化槽懇談会なるものが発足しました。保守点検の回数についてはこのままでいいのか。法的には3回のところを12回点検も野放図に存在する。清掃についてもただバキュームカーで汲んでいくには高すぎるのではないのか。本当にあんな仕事でいいのかということが議論されております。それから法定検査についても各県まちまちの基準がある。岐阜県においては

いの一番に厳しい規則を作って実施している。県民の立場に立ち切るという視点で法定検査はあるべきであります。

そういった内容も含めて、今後当連合会が健全な発展をするために、今日ご来賓の方にも厳しいご指摘をこれからもいただきますようお願いいたします。

## 新役員を選任

会長 玉川福和（再）

副会長 荒川晶一（再） 窪田浩一（再）

平成27年6月10日開催の第4回定時総会において、任期満了に伴う理事並びに代議員の選任が行われ、次の方々が選任されました。任期2年。

### 新役員

理 事	代議員
会 長 玉 川 福 和（岐環協・再）	吉 村 敏 博（岐環協・再）
副 会 長 荒 川 晶 一（管設備・再）	松 本 年 夫（ 同 ・再）
同 窪 田 浩 一（岐保協・再）	柿 本 和 男（ 同 ・新）
専務理事 田 中 剛（岐環協・新）	米 澤 正 昭（岐保協・再）
理 事 牧 野 好 晃（ 同 ・再）	若 田 好 三（ 同 ・再）
同 横 井 誠（岐保協・再）	内 藤 嘉 治（ 同 ・再）
同 梅 田 晶 則（ 同 ・再）	高 木 雅 浩（管設備・再）
同 川 島 吉 博（管設備・再）	岡 田 明 彦（ 同 ・再）
同 中 村 淳 司（ 同 ・再）	熊 崎 昇（ 同 ・再）
同 熊 崎 守 男（環技センター・再）	田 中 義 勝（環技センター・再）
同 武 藤 正 伸（ 同 ・新）	赤羽根 智加人（ 同 ・再）
同 小 川 正 二（ 同 ・再）	渡 邊 雅 徳（ 同 ・再）



## 来賓挨拶

岐阜県副知事

藤野 琢巳

公益社団法人岐阜県浄化槽連合会の皆様には、日頃から浄化槽の適正な維持管理、浄化槽生涯機能保証制度の運用等を通じまして、県民の皆さんの生活環境の保全並びに公衆衛生の向上に努めていただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

本格的な人口減少、あるいは下水道施設の老朽化、厳しい財政状況など汚水処理施設を取り巻く状況が大きく変化している中、本県の汚水処理人口普及率は現在89.8%で未だ約21万人の方が汚水処理施設を利用できない状況であり、より効率的、経済的な整備を早期に行うことが求められております。

浄化槽は下水道と同程度の処理能力があること、下水道と比較して安価かつ短期間で設置が可能な施設であることから、県におきましても岐阜県浄化槽設置整備事業を実施しております。この事業中の補助金の積極的な活用を通じて浄化槽の整備を推進してまいりたいと考えておりますので、汚水処理人口普及率向上に向けまして今後とも皆様の一層のご協力をお願いいたします。

さて、県では清流の恵みに感謝し、清流に育まれた自然、歴史、伝統、文化、技を古里の宝物として活かし伝えるため、清流の国ぎふづくりを進めているところであります。皆様の浄化槽に関する取り組みもまさに清流を守ることそのものであります。清流の恵みを未来につなげていくために引き続きご支援をお願いいたします。

岐阜県市長会代表

岐阜市副市長 佐藤 哲也



公益社団法人岐阜県浄化槽連合会におかれましては、関係行政に深いご理解とご協力を頂き浄化槽の適正な施工及び保守点検、清掃、法定検査の3業種が密に連携した維持管理体制による処理状況の改善事業を通じて、生活環境の保全や公衆衛生の向上に努めておられますことに心から敬意と感謝を申し上げます。また、全国に先駆けて創設されました浄化槽らくらく一括契約や浄化槽生涯機能保証制度、プロワ停止への年中無休対応など、浄化槽管理者への負担を軽減する独自の取り組み、毎年、業界関係者1,500人近くが資質を高めるために参加する浄化槽実務者研修会の開催、さらには、岐阜大学みず再生技術研究推進センターにおける産学連携による浄化槽処理水の研究推進など、浄化槽のより高度な維持管理における水環境の保全に積極的にご尽力をいただいていることにつきまして重ねてお礼申し上げます。

岐阜県では清流の国ぎふづくりを推進され、水に関わる普及、啓発活動が展開されておりますが、地域住民の皆様が環境保全意識を継続されることが生活環境の更なる向上につながるものと存じます。貴浄化槽連合会におかれましては、地域住民の皆様に対し、浄化槽に関する正しい知識の普及を図られ、また、関係者の皆様が今後とも連携を密にして健康で快適な生活環境づくりが推進できますようご協力をお願い申し上げます。



岐阜県町村会代表  
川辺町長 佐藤 光宏

岐阜県の町村は中山間地が多く、こうした地域の汚水処理施設として浄化槽の普及は効果的であり、経済的にも優れた施設であります。また、町村の財政上からも浄化槽は極めて有効な手段として普及しております。日本は自然的条件により災害発生頻度が高い国土であり、特に東海地域においては南海トラフという巨大地震の発生が懸念されております。そうした中、浄化槽は耐震性にも優れており、防災拠点を整備する上でも重要な施設として期待されております。

岐阜県民の歌に詠われておりますように岐阜県は木の国、山の国であり、森林に源を發する清流の国であります。岐阜県の清らかな水環境を県民の大切な財産として将来に引き継いでいく上で浄化槽は重要な役割を果たしており、地域住民の方々もそうした取り組みに期待を持っております。今後とも貴浄化槽連合会おかれましては、健康でかつ快適な生活環境づくりに邁進されますようお願い申し上げます。

## 平成27年度浄化槽関係事業功労者表彰

平成27年度浄化槽関係事業功労者表彰が6月10日に開催された公益社団法人岐阜県浄化槽連合会第4回定時総会の席上において行われた。岐阜県知事表彰者3名に藤野副知事から、会長表彰者11名、永年勤続者表彰者23名に玉川会長から、それぞれ表彰状並びに記念品が授与された。

永年に亘る浄化槽関係事業に対する功績によるものであり、誠におめでとうございます。今後ともより一層のご活躍を期待しております。



(藤野副知事より授与)



(玉川会長より授与)

### 知事表彰者

推薦団体	氏名	所属会社等の名称
岐阜県環境整備事業協同組合	溝口和彦	(有)関環境サービス
同	柿ヶ野正志	(有)下呂環境
岐阜県管設備工業協同組合	西尾高司	(株)西尾管工業

### 会長表彰者

推薦団体	氏名	所属会社等の名称
西南濃浄化槽管理協議会	渡辺 昇	渡辺設備
恵那浄化槽協議会	加藤 智義	ケンナンクリーン(株)
下呂市浄化槽協議会	細江 輝伸	喜運工業
飛騨地区浄化槽協議会	洞口 忠夫	(株)洞口設備工業
岐阜県管設備工業協同組合	汲田 和尚	(有)日の出屋住設
岐阜県環境整備事業協同組合	松井 裕子	(有)荘白川クリーン
同	市川 竜司	クリーン金山(有)
同	鷲見 克彦	(株)八幡環境
同	山田 久美子	(有)エーテック郡上
同	松田 博司	マルデンコーポレーション(有)
同	兼山 日登司	トバナ産業(株)

### 永年勤続者表彰者

推薦団体	氏名	所属会社等の名称
西南濃浄化槽管理協議会	石谷 彰二	(株)光商会
恵那浄化槽協議会	高本 正美	東清(株)
同	神田 則一	同
同	神原 正男	(有)青山クリーン
下呂市浄化槽協議会	菊川 仁	クリーン金山(有)
飛騨地区浄化槽協議会	小池 誠	(株)岩佐鐵工所
岐阜県管設備工業協同組合	鹿野 秀樹	(株)イビデン住設
岐阜県浄化槽保守点検業協同組合	志村 啓介	岐阜藤吉工業(株)
岐阜県環境整備事業協同組合	畑川 匡	高山清掃事業(株)
同	石田 利明	(株)神岡衛生社
同	堀 太一	美濃加茂衛生(株)
同	若宮 陽次	同
同	武山 和康	(有)御嵩衛生社
同	塚田 保定	(有)岐東衛生社浄化槽部
同	丹羽 恵利子	美濃設備(株)
同	上村 千秋	(有)エーテック郡上
同	松波 明尚	各務原衛生(株)
同	坂口 裕樹	日本環境クリーン(株)
同	森田 大作	(有)揖斐川清掃
同	山口 清則	養清興業(株)
同	伊藤 正則	(株)日本環境管理センター
(一財)岐阜県環技センター	安田 基	職員
同	堀田 典道	同

# 平成26年度浄化槽実務者研修会

2会場 5日間に分けて開催 受講者 1,505名

平成14年度から、毎年開催している浄化槽実務者研修会の平成26年度開催が平成27年3月10日から2会場、5日間に分けて行われた。

主催 公益社団法人岐阜県浄化槽連合会  
共催 岐阜県浄化槽らくらくプロジェクト促進協議会  
協力 岐阜県廃棄物対策課・建築指導課

受講者 会員・議員・行政・メーカー・全国環整連ほか 合計 1,505名

## ☆ 主な研修内容

- 電子化による浄化槽維持管理3業種の連携
- 浄化槽維持管理状況行政閲覧システム
- 下水道への一般会計繰出金（使用料不足額）
- 下水道と浄化槽の比較
- 平成27年度 国及び県の浄化槽補助金の概要
- 法定検査未受検者及び不適正浄化槽に対する指導
- 過疎地域の人員算定の特例取扱要領と実態
- 岐阜大学における放流水透視度確保（30度以上）の研究状況報告
- ニッコー(株) (株)クボタの新型浄化槽の説明
- 岐阜県浄化槽生涯機能保証制度からの報告
- 施工の注意点
- 平成26年度水質改善事例報告
- 会長のまとめ

上記のように研修内容は多岐に亘るが、今号では、

- 岐阜県浄化槽生涯機能保証制度からの報告
- 平成26年度水質改善事例報告（事例1、5、10）を掲載する。



（研修会会場）

# 岐阜県浄化槽生涯機能保証制度からの報告

公益社団法人岐阜県浄化槽連合会  
判定委員会

## ① 年度別申立状況(平成20年9月～平成26年12月申請分)

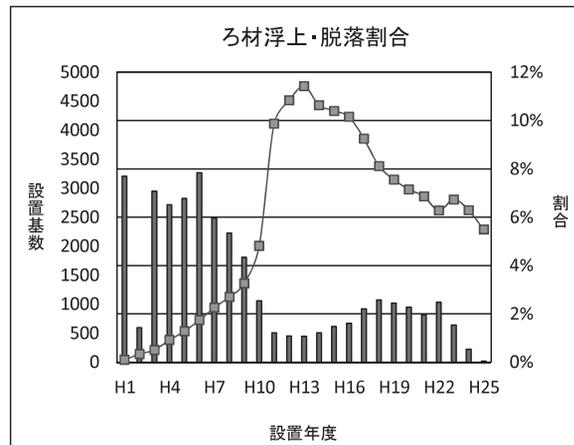
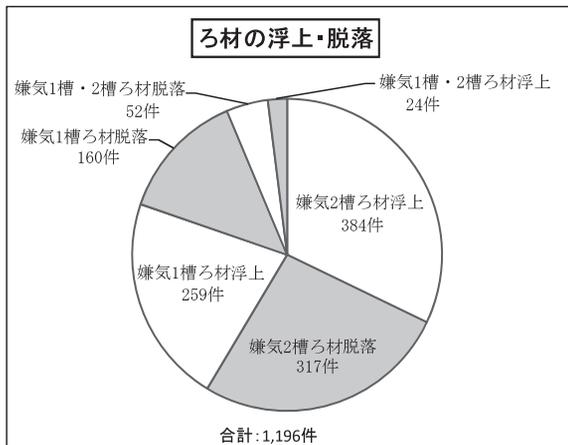
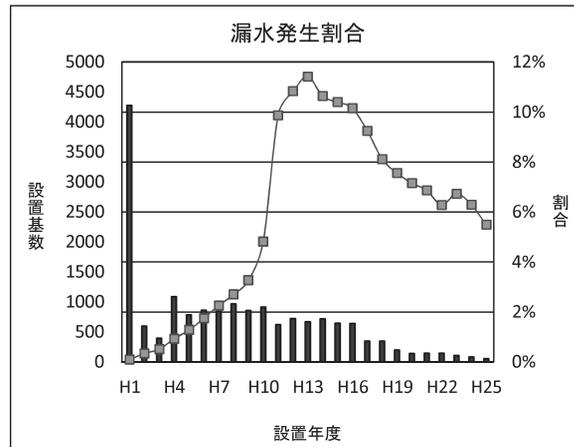
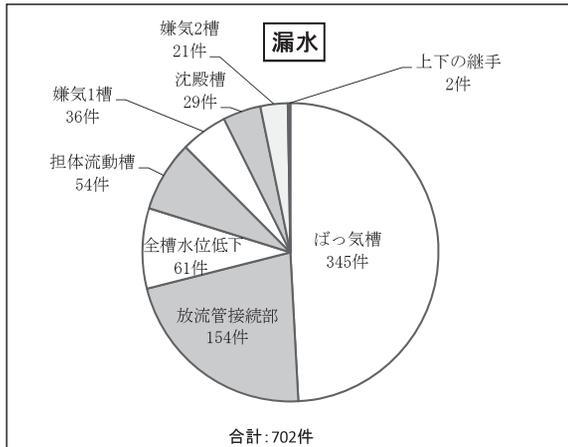
年度	漏水	担体	ろ材	仕切板	消毒槽等	合計
20年度	57	—	—	—	—	※ 57
21年度	47	—	—	—	—	※ 47
22年度	84	15	40	33	—	172
23年度	131	184	314	469	24	1,122
24年度	128	269	366	404	16	1,183
25年度	135	306	286	356	18	1,101
26年度	120	194	190	217	16	737
合計	702	968	1,196	1,479	74	4,419

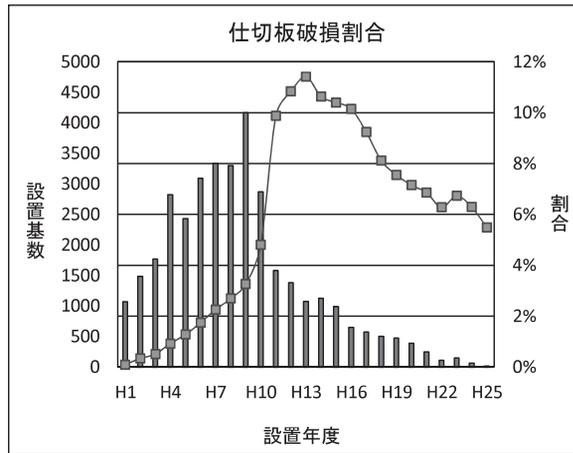
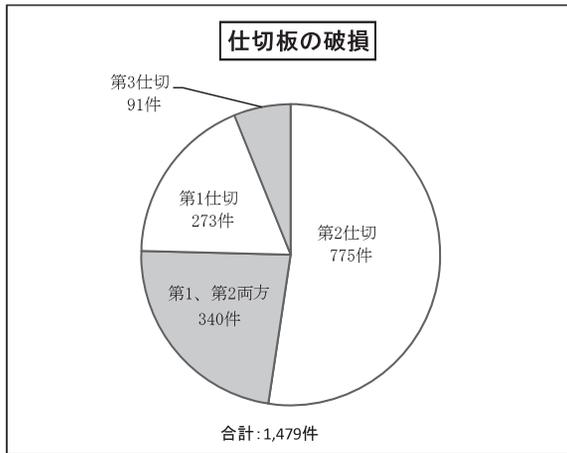
<対象浄化槽> らくらく契約、20人槽以下、合併処理浄化槽  
※21年度までは漏水のみを対象とした。

## ② 機能異常の分類と設置年度別の発生率(平成20年9月～平成26年12月申請分)

累計(平成20年9月～平成26年12月申請分) 3,377件

※棒グラフは発生率を示し、折れ線グラフは設置基数を示す





③ メーカー別の申立件数(平成20年9月～平成26年12月申請分)

メーカー名	漏水	担体	ろ材	仕切板	消毒槽等	合計	設置基数	割合
(株)ハウステック	41	188	50	63	5	347	7,675	4.5%
フジクリーン工業(株)	100	59	247	320	17	743	16,065	4.6%
藤吉工業(株)	4	2	12	4	2	24	480	5.0%
中衛工業(株)	5	7	1	6		19	370	5.1%
前澤化成工業(株)	14	19	49	32	1	115	1,950	5.9%
大栄産業(株)	24	158	46	63	3	294	4,756	6.2%
(株)イビデン住設	40	1	67	15	2	125	1,935	6.5%
日本理化学工業(株)		2	1			3	36	8.3%
(株)イナックス	7	30	2	18		57	678	8.4%
パナソニック(株)	54	8	21	95	4	182	2,056	8.9%
ニッコー(株)	101	106	162	78	16	463	5,199	8.9%
(株)アールエコ	2	11	1	1	1	16	178	9.0%
(株)ハマネツ	17	113	103	317	2	552	6,052	9.1%
東海公営事業(株)	2		1	3	1	7	76	9.2%
(株)クボタ	188	139	117	132	10	586	5,970	9.8%
積水ホームテクノ(株)	52	28	144	194	3	421	4,260	9.9%
(株)ダイキアクシス	2	86	42	63	2	195	1,931	10.1%
田代工業(株)	2	1	1	6		10	83	12.0%
(株)プラントシステム	4		3	4		11	90	12.2%
第一公害プラント(株)	1			2		3	21	14.3%
アムズ(株)	26	6	37	12	2	83	578	14.4%
(株)西原ネオ		2	10	8	1	21	136	15.4%
山正産業(株)	1					1	6	16.7%
ベスト工業(株)	10	1	77	32	1	121	524	23.1%
東洋プラント(株)		1				1	4	25.0%
小松化成(株)	3		2	6		11	39	28.2%
日本ゼオン(株)				4		4	12	33.3%
北研工業(株)	1				1	2	3	66.7%
ホームー(株)				1		1	1	100.0%
日南産業(株)	1					1	1	100.0%
合計	702	968	1,196	1,479	74	4,419	61,165	7.2%

<対象浄化槽> らくらく契約、20人槽以下、合併処理浄化槽

# 平成26年度 水質改善事例 一般財団法人岐阜県環境管理技術センター

事例1 2次処理槽上澄水を1次処理1室へ張り水に使用した水質改善(適正量引抜き)

## 1. 基本情報および一年間の測定結果

処理方式	性能評価型 窒素除去型	作業予定月	
メーカー/型式	フジクリーン工業(株)/CE型	保守点検	2・6・10月
人槽/使用人員	5人槽/4人使用	清掃	8月
日平均汚水量	0.66m <sup>3</sup> /日	法定検査	4月

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		処理水槽 (cm)	
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚
清掃 平成25年8月(全量)	50	/	7.4	23	20	20	/	10	/	/
保守 平成25年10月18日	25	5.5	6.8	18	1	20	0	10	0	20
保守 平成26年 2月 5日	22	3.9	7.0	16	5	25	0	15	0	15
法定 平成26年 4月30日	17	7.4	7.2	11	25	20	0	10	0	20
保守 平成26年 6月 6日	50	1.5	7.0	38	15	25	0	20	0	15
清掃 平成26年8月(適正量)	45	1.4	7.5	30	20	15	0	5	0	15
保守 平成26年10月30日	50	1.1	7.5	28	12	7	0	1	0	16
保守 平成27年 2月 2日	50	5.2	6.8	29	12	20	0	2	0	2

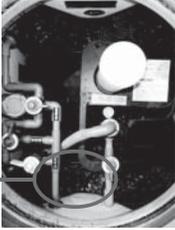
○ 各室の有効容量と引抜き結果

	有効容量(m <sup>3</sup> )	引抜き量(m <sup>3</sup> )	搬出量(m <sup>3</sup> )	1室へ移送した水量(m <sup>3</sup> )
1次処理 1室	0.749	全量	全量	/
1次処理 2室	0.751			
2次処理	0.380	全量	0.285	0.263 1室の張り水に使用
処理水槽	0.168			
消毒槽	0.015	全量	全量	/
合計	2.063	全量	1,800	0.263
使用車両	バキューム車2台		バキューム車1台は移送水専用	

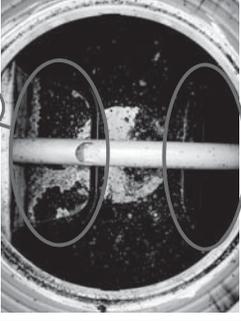
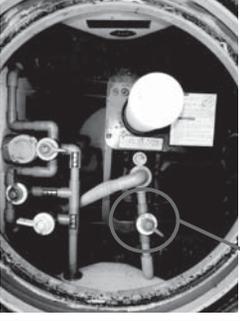
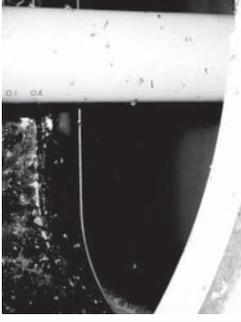
## 2. 浄化槽の概要図と清掃時の設定状況

概要図	清掃時の設定状況		
<p>HWL L.W.L.</p> <p>ろ材 接触材 円筒ろ材</p>	清掃作業 前	清掃作業 後	
	循環水量 L.W.L.時	1.0L/分	0.1L/分
	放流バルブ	100%	100%
	①空気逃がしバルブ取付(消音対策)		
浄化槽の特徴			
1次処理1室:ろ材無し 2室:骨格様球状ろ材			
2次処理:上部板状・下部へチマ様円筒ろ材			
2次処理:自動逆洗装置無し			

### 3. 清掃時の槽内状況(平成26年8月7日)

	1次処理1室	1次処理2室	2次処理/処理水槽	
流入				放流
	②2次処理槽内 生物膜が多い	②手動逆洗と併せて 強制攪拌を実施する	②剥離汚泥の沈降性が良い 上澄水は1室へ移送する	
				

### 4. 清掃2か月後、保守点検時の槽内状況(平成26年10月30日)

	1次処理1室	1次処理2室	2次処理/処理水槽	
流入				放流
	1次処理1室 流出水	1次処理2室 流出水	2次処理槽内水	
				
	③1室流出水透視度 22度 1室固液分離良い	④2室流出水透視度 28度 前年10月保守18度より向上	放流水透視度 50度 生物膜が生成している	

### 5. 作業及び調整内容

清掃 8/7	手動逆洗と併せ強制攪拌15分実施後、バキューム車で上澄水1/2を1次処理1室張り水に使用 1次処理の固液分離機能を考慮し循環水量1.0L/分→0.1L/分に変更する
保守 10/30	処理水槽の堆積汚泥厚16cmを移送後、2次処理の強制攪拌を実施する DOが1.1mg/Lと低い事から放流バルブ100%→80%に変更し、ばっ気攪拌を強める

### 6. 清掃後の保守点検結果

① 前年1次処理流出水透視度18度→28度、放流水透視度25度→50度に改善(26年10月30日)
② 前年1次処理1室スカム厚1cm→12cmに増加、堆積汚泥厚20cm→7cmに減少
③ 前年1次処理2室堆積汚泥厚10cm→1cmに減少

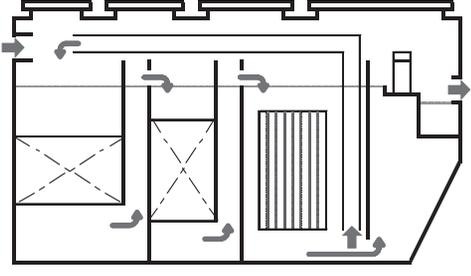
## 事例5 タイマー取付による間欠ばっ気運転(保守点検業者の水質改善)

### 1. 基本情報および一年間の測定結果

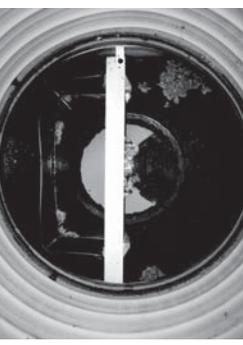
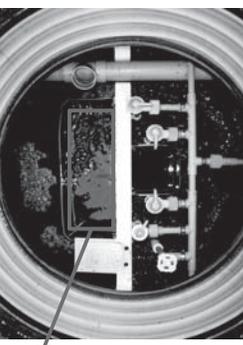
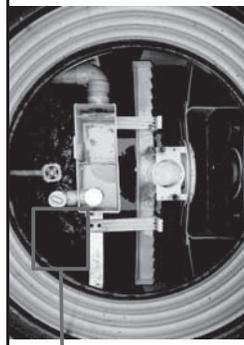
処理方式	構造例示型 嫌気ろ床接触ばっ気	作業予定月	
メーカー/型式	積水ホームテクノ(株)/SGS II型	保守点検	2・6・10月
人槽/使用人員	10人槽/6人使用	清掃	8月
日平均汚水量	1.30m <sup>3</sup> /日	法定検査	4月

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		沈殿槽 (cm)	
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚
保守 平成26年 2月10日	14	7.2	7.7	12	3	10	0	21	0	7
法定 平成26年 4月 8日	34	4.1	7.4	22	5	12	0	18	0	10
保守 平成26年 6月 9日	48	3.7	7.3	29	10	12	0	25	0	5
清掃 平成26年 8月28日	46	/	7.0	26	15	15	/	32	/	12
保守 平成26年10月 8日	50	3.9	7.1	29	4	7	0	5	0	9

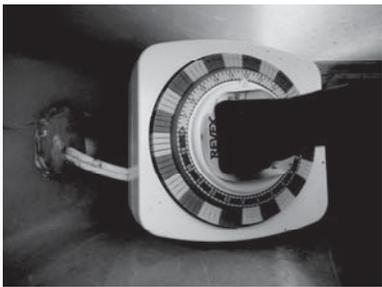
### 2. 浄化槽の概要図と法定検査時の設定状況

概要図	法定検査時の設定状況		
 <p>ろ材 接触材</p>	メーカーの基本設定	保守点検の設定	
	空気逃がしバルブ	全閉	3/4回転開
	汚泥移送	停止	停止

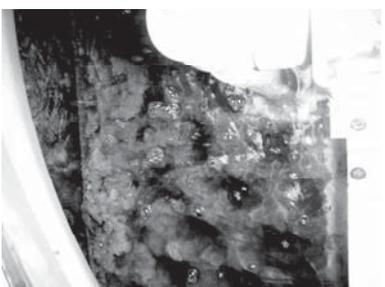
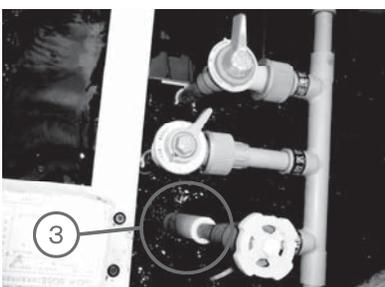
### 3. 法定検査時の槽内状況

1次処理1室	1次処理1室/2室	1次処理2室/2次処理	2次処理/沈殿槽
			
1室スカム厚 5cm 堆積汚泥厚 12cm	2室スカム厚 0cm 堆積汚泥厚 18cm	①透視度 22度	放流水透視度 34度 ※撮影の為、消毒筒は取り外しています

#### 4. 水質改善対策方法

タイマーの取付状況		
		
取付日 <u>平成26年2月10日</u> (保守点検時)	雨に当たる恐れがある為、 容器に収納している	リーベックス(株) PT24 ぼっ気停止時間(0時~6時)

#### 5. 対策の効果

生物膜の状況	空気逃がしバルブ	警報器について
		・シンワ製(Paスカル)は ブロワの圧力低下を検知後 警報を発報するまで3時間あ り、間欠ぼっ気との組み合わ せに適している
②生物膜の生成により、槽内水 及び放流水透視度が改善	③消音対策で空気逃がし配管 にディフューザー取付	

#### 6. 保守点検時の留意点

① 空気逃がし調整で水質が改善されない施設に検討 ② 水質改善後はタイマーを取外し経過観察する ③ DO値が、ぼっ気攪拌時に1.0mg/L以上になるよう調整を行う ④ タイマーの取付について清掃業者へ申し送る
---

#### 7. 清掃時の留意点

① タイマーの現在時刻が合っているか確認する ② コンセントの接続状況に不備がないか確認する 【ろ材の形状】 1次処理1室:骨格様球状 2室:へチマ状
---

## 事例10 手動逆洗を長く実施した事による水質改善

### 1. 基本情報および一年間の測定結果

処理方式	性能評価型 窒素除去型	作業予定月	
メーカー/型式	ニッコー(株)/浄化玉型	保守点検	4・8・12月
人槽/使用人員	5人槽/4人使用	清掃	2月
日平均汚水量	1.01m <sup>3</sup> /日	法定検査	10月

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		処理水槽 (cm)		
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	
清掃	平成26年 2月18日	21	/	7.3	11	40	30	/	16	/	/
保守	平成26年 4月10日	40	3.1	7.4	26	4	20	0	8	0	5
保守	平成26年 8月20日	33	2.4	7.2	21	20	26	0	11	0	22
法定	平成26年 10月28日	<u>25</u>	<u>1.6</u>	7.3	18	24	29	1	14	0	<u>28</u>
保守	平成26年 12月12日	<u>44</u>	<u>2.5</u>	6.9	19	28	30	1	13	0	<u>20</u>

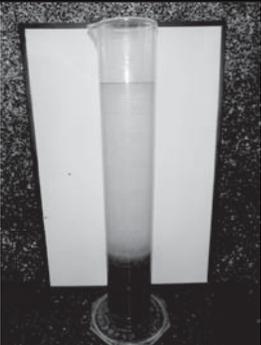
### 2. 浄化槽の概要図と法定検査時の設定状況

概要図	法定検査時の設定状況		
	メーカーの基本設定	保守点検の設定	
	循環水量	3Q 2.1 L/分	2.0 L/分
	逆洗設定	1日5回	1日5回
	処理水量調整バルブ	50%	50%

### 3. 法定検査時の槽内状況

1次処理1室/2室	1次処理2室/2次処理
① 通常運転 循環水の採水箇所 逆洗運転 移送汚泥の採水箇所	② 散気バルブ ③ 処理水量調整バルブ ④ 循環・汚泥移送用バルブ ※撮影の為、消毒筒は取り外しています

#### 4. 透視度低下の原因と保守点検への申し送り事項

	自動逆洗後の移送汚泥	手動逆洗10分後の移送汚泥	手動逆洗のバルブ設定
			
原因	①自動逆洗の時間 (30秒から1分間) 剥離汚泥が少ない	①手動逆洗を長く実施する 事で多くの汚泥を剥離し 移送する事ができる	②散気バルブ全閉 ③処理水量調整バルブ0% ④循環・汚泥移送用バルブ0%



申し送り	① 移送を停止し手動逆洗を10分実施して下さい ② 逆洗後、汚泥を移送して下さい
------	---

#### 5. 保守点検からの経過観察

測定値		措置① 平成 26年 10月 30日 (法定検査から 2日後)
放流水透視度(度)	25	指示とおり手動逆洗10分と汚泥移送を実施しました
測定値		措置② 平成 26年 11月 13日 (法定検査から 16日後)
放流水透視度(度)	26	手動逆洗を10分実施しました
pH	7.2	次回まで様子を見ます
DO(mg/L)	1.9	
測定値		措置③ 平成 26年 11月 28日 (法定検査から 31日後)
放流水透視度(度)	26	透視度に変化はないが逆洗時の剥離汚泥が少なくなる
pH	7.1	今回は手動逆洗を15分実施しました
DO(mg/L)	2.0	
測定値		保守点検 平成 26年 12月 12日 (法定検査から 45日後)
放流水透視度(度)	44	透視度が回復しました
pH	6.9	水質保持のため手動逆洗を10分実施し汚泥移送しました
DO(mg/L)	2.5	

#### 6. 保守点検から清掃への申し送り事項

① 循環水量は2.0L/分で調整しています
② 逆洗設定は変更しないで下さい

#### 7. 清掃時の留意点

① 手動逆洗を10分以上実施する事で逆洗効果が上がる
【ろ材の形状】 1次処理1室:無し 2室:網様円筒状

## 都道府県別汚水処理人口普及状況

(平成25年度末)

都道府県名	汚水処理人口 普及率	総人口 (千人)	汚水処理 人口計 (千人)	下水道 (千人)	農業集落 排水施設等 (千人)	合併処理 浄化槽 (千人)	うち			コミュニティ ・プラント (千人)
							浄化槽市町 村整備推進 事業等分 (千人)	浄化槽設置 整備事業分 (千人)	左記以外分 (千人)	
北海道	94.4%	5,437	5,135	4,902	75	158	53	66	38	0
青森県	75.2%	1,358	1,021	774	123	125	13	38	74	0
岩手県	76.7%	1,305	1,001	723	115	162	39	87	36	2
宮城県	88.9%	2,322	2,065	1,832	77	149	30	75	44	7
秋田県	83.7%	1,063	890	655	116	119	24	69	26	0
山形県	89.4%	1,145	1,024	854	84	86	15	48	22	0
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	80.7%	2,985	2,409	1,766	170	460	11	178	271	13
栃木県	82.7%	2,006	1,659	1,261	94	303	5	226	72	1
群馬県	76.3%	2,015	1,538	1,031	131	352	23	211	118	25
埼玉県	89.5%	7,290	6,525	5,732	101	691	26	183	482	1
千葉県	85.2%	6,244	5,319	4,457	52	801	9	309	483	9
東京都	99.7%	13,229	13,191	13,156	2	31	4	9	18	2
神奈川県	97.7%	9,101	8,894	8,763	3	129	2	45	82	0
新潟県	84.7%	2,343	1,986	1,677	184	126	14	47	64	0
富山県	95.5%	1,088	1,039	895	96	43	2	24	18	5
石川県	92.4%	1,160	1,072	947	71	51	9	15	28	3
福井県	92.7%	805	746	608	98	40	3	28	9	0
山梨県	79.7%	858	684	546	16	115	8	42	65	6
長野県	96.8%	2,153	2,084	1,753	207	122	18	83	21	2
岐阜県	89.8%	2,090	1,878	1,533	122	218	8	127	83	4
静岡県	76.9%	3,793	2,916	2,313	32	551	14	317	220	20
愛知県	87.6%	7,470	6,543	5,583	167	783	24	263	495	11
三重県	80.8%	1,862	1,503	923	93	484	17	226	240	4
滋賀県	98.2%	1,419	1,393	1,247	102	44	0	14	30	0
京都府	96.8%	2,580	2,498	2,394	46	57	10	27	21	0
大阪府	96.8%	8,865	8,579	8,393	1	184	6	31	148	0
兵庫県	98.5%	5,639	5,557	5,195	177	111	10	67	35	73
奈良県	87.3%	1,399	1,221	1,077	9	131	3	32	96	4
和歌山県	57.4%	1,008	579	237	49	293	13	173	107	0
鳥取県	90.7%	584	530	391	106	32	5	15	12	0
島根県	76.2%	708	539	317	114	104	27	44	33	4
岡山県	82.4%	1,940	1,598	1,236	50	312	21	196	96	0
広島県	85.0%	2,868	2,439	2,043	57	326	14	144	168	13
山口県	84.1%	1,436	1,207	903	71	234	8	137	89	0
徳島県	54.1%	779	422	131	21	261	14	146	102	8
香川県	72.2%	1,006	726	438	19	269	16	203	50	1
愛媛県	74.3%	1,430	1,062	724	45	287	26	156	105	6
高知県	71.6%	749	536	265	23	247	14	134	99	2
福岡県	89.8%	5,108	4,587	4,039	56	479	54	282	143	14
佐賀県	78.8%	849	669	474	71	123	27	71	25	1
長崎県	77.2%	1,416	1,093	852	51	185	18	120	48	5
熊本県	83.7%	1,818	1,521	1,192	77	252	30	173	49	0
大分県	71.2%	1,193	849	569	37	242	13	155	74	1
宮崎県	81.6%	1,136	927	637	54	236	24	178	35	0
鹿児島県	75.2%	1,689	1,271	688	44	535	48	375	111	5
沖縄県	85.4%	1,444	1,233	1,009	58	166	11	5	150	0

(注) 1. 整備人口は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。  
 2. 平成25年度末は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため公表対象外としている。